

第2期沖縄市保健事業実施計画（データヘルス計画）及び第3期特定健康診査・特定保健指導実施計画

1. 保健事業実施計画（以下「データヘルス計画」という）の目的

平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」において、全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画の作成、公表、事業実施、評価を求められるようになった。この閣議決定をもとに厚生労働省告示で、保険者は健康・医療情報を利用してPDCAサイクルに沿った効果的・効率的な保健事業の実施を図るため、保健事業の実施計画（データヘルス計画）を作成したうえで、保健事業の実施・評価・改善等を行うこととなり、平成26年度～平成29年度第1期データヘルス計画に次いで、第2期データヘルス計画及び第3期特定健康診査・特定保健指導実施計画（平成30年度～平成35年度）を作成した。

2. データヘルス計画のターゲットとなる疾患の医療費に占める割合

平成25年度と平成28年度の比較（計画書P15）

データヘルス計画のターゲットとなる疾患が医療費に占める割合（平成25年度と平成28年度との比較）

市町村名	総医療費	一人あたり医療費		中長期目標疾患					短期目標疾患			(中長期・短期) 目標疾患医療費計	新生物	精神疾患	筋・骨格系疾患	
		金額	順位	腎(慢性腎不全)		脳	心	糖尿病	高血圧	脂質異常症						
				同規模	県内	透析有	透析無				脳梗塞 脳出血					狭心症 心筋梗塞
H25 沖縄市	11,231,382,210	18,108	103位	31位	8.87%	0.39%	2.58%	2.56%	3.54%	4.17%	2.45%	2,758,154,780	24.56%	7.99%	16.50%	6.14%
H28 沖縄市	11,064,479,370	19,540	105位	34位	8.97%	0.25%	2.02%	2.08%	3.47%	3.14%	1.97%	2,422,547,140	21.89%	8.93%	16.09%	6.92%
H28 沖縄県	120,484,405,470	22,111	-	-	8.79%	0.35%	2.38%	1.86%	3.81%	3.43%	1.88%	27,110,894,510	22.50%	9.47%	15.38%	7.21%
H28 国	9,687,968,260,190	24,245	-	-	5.40%	0.35%	2.23%	2.04%	5.40%	4.75%	2.95%	2,239,908,933,310	23.12%	14.21%	9.38%	8.45%

- ☞ H25年度からH28年度の「総医療費」「(中長期・短期)目標疾患医療費計」は概ね減少している。(青色)
- ☞ 「一人あたり医療費」は増加し、「腎(慢性腎不全)透析有」「新生物」「筋・骨格系疾患」の割合も増加している。(赤色)
- ☞ 「腎(慢性腎不全)透析有」「狭心症・心筋梗塞」を県・国と比較すると、本市の割合は高い。

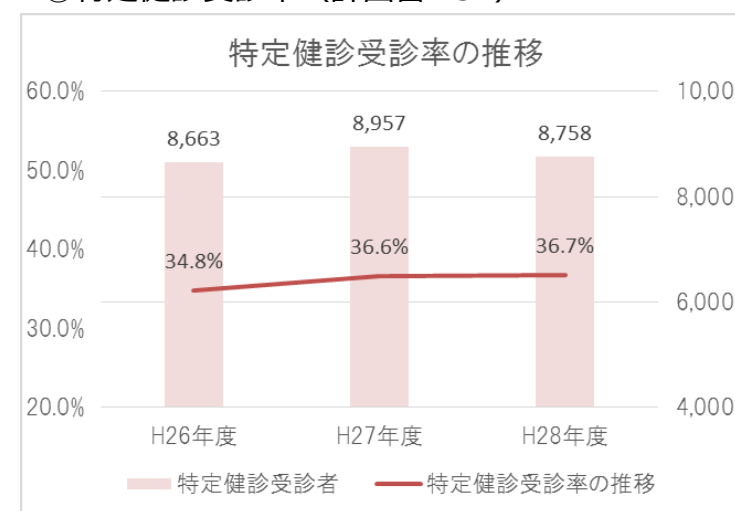
3. 死亡状況（計画書P9）

死亡の状況	標準化死亡比(SMR)	性別	H25年度		H28年度		H28年度					
			沖縄市		同規模平均		県		国			
			実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
死亡の状況	標準化死亡比(SMR)	男性	103.1		101.9		99.1		97.8		100	
		女性	94.9		98.7		100.7		87.5		100	
	死因	がん	247	51.1	258	50.6	36,947	49.6	2,965	48.0	367,905	49.6
		心臓病	129	26.7	134	26.3	19,873	26.7	1,600	25.9	196,768	26.5
		脳疾患	49	10.1	56	11.0	11,361	15.3	893	14.5	114,122	15.4
		糖尿病	17	3.5	20	3.9	1,352	1.8	187	3.0	13,658	1.8
腎不全	18	3.7	21	4.1	2,517	3.4	243	3.9	24,763	3.3		
自殺	23	4.8	21	4.1	2,408	3.2	287	4.6	24,294	3.3		
早世予防からみた死亡(65歳未満)	合計	200	21.6	201	20.5			2,049	18.1	136,944	10.5	
	男性	138	28.1	124	24.7			1,386	23.1	91,123	13.5	
	女性	62	14.2	77	16.1			663	12.4	45,821	7.2	

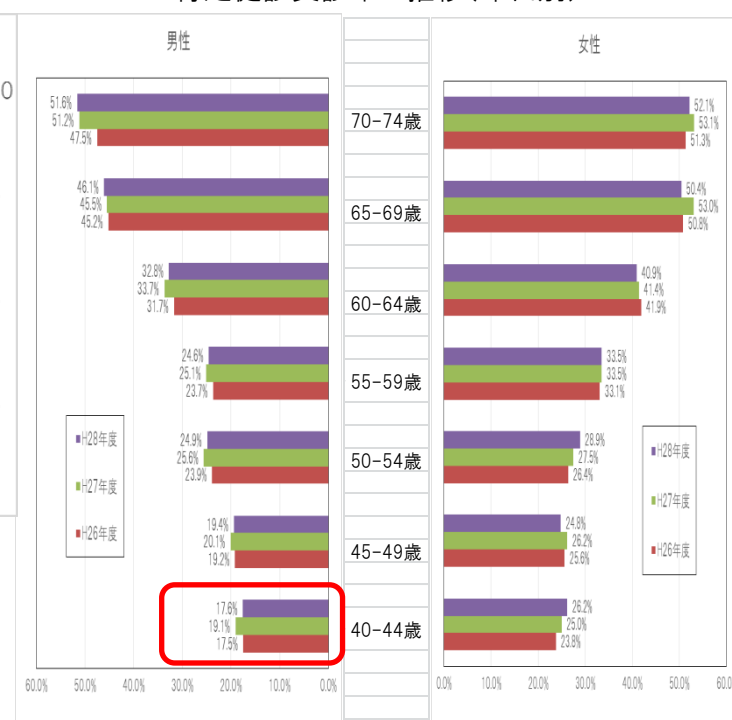
- ☞ 標準化死亡比をみると、国を100とした場合、沖縄市はH25年度とH28年度と比べて、男性は101.9に低下したが、国、県よりも高い。また女性は94.9から98.7と高くなっている。
- ☞ 65歳未満の早世死亡の割合をみると、男女ともに、国、県より高い。

4. 沖縄市の健康課題

① 特定健診受診率（計画書P31）



特定健診受診率の推移(年代別)



- ☞ 特定健診の受診率はほぼ横ばいで国の目標(60%)には達していない。
- ☞ 特定健診の年代別受診率の推移をみると、65歳~74歳の受診率は45~50%と高いが、40歳~49歳が17%~26%と低く、特に40歳~44歳男性の受診率は20%以下と低い。

② 特定健診の有所見状況（計画書P24）

4 健診データのうち有所見者割合の高い項目や年代を把握する（厚生労働省様式6-2~6-7）

★NO.23 (仮票)

性別	BMI	腰囲	中性脂肪	GPT	HDL-C	空腹時血糖	HbA1c	尿酸	収縮期血圧	拡張期血圧	LDL-C	クレアチニン												
	25以上	85以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上	130以上	85以上	120以上	1.3以上												
全国	30.6	50.2	28.2	20.5	8.6	28.3	55.7	13.8	49.4	24.1	47.5	1.8												
県	20,395	44.5	27,902	60.9	14,513	31.7	10,862	23.7	3,802	8.3	15,977	34.9	25,201	55.0	13,169	28.8	22,161	48.4	10,595	23.1	21,390	46.7	1,238	2.7
本市計	1,732	43.9	2,277	57.7	1,180	29.9	909	23.0	326	8.3	1,483	37.6	2,123	53.8	1,178	29.8	1,898	48.1	898	22.5	1,956	49.5	118	3.0
40-64	873	44.4	1,093	55.0	699	35.5	569	28.9	170	8.6	636	32.3	891	45.3	645	32.8	836	42.5	515	26.2	1,023	52.0	32	1.6
65-74	859	43.4	1,194	60.3	481	24.3	340	17.2	156	7.9	847	42.8	1,232	62.2	533	26.9	1,062	53.6	373	18.8	933	47.1	86	4.3
全国	20.6	17.3	16.2	8.7	1.8	17.0	55.2	1.8	42.7	14.4	57.2	0.2												
県	17,387	34.1	13,686	26.8	9,688	19.0	6,130	12.0	1,067	2.1	11,053	21.7	28,502	56.0	2,667	5.2	20,461	40.1	7,168	14.0	28,398	55.6	258	0.5
本市計	1,611	34.3	1,236	26.3	863	18.4	550	11.7	92	2.0	1,019	21.7	2,487	52.9	264	5.6	1,799	38.3	668	14.2	2,604	55.4	23	0.5
40-64	734	30.9	547	23.1	430	18.1	302	12.7	43	1.8	418	17.6	1,006	42.4	129	5.4	673	28.4	365	15.4	1,293	54.5	9	0.4
65-74	877	37.7	689	29.6	433	18.6	248	10.7	49	2.1	601	25.8	1,481	63.7	135	5.8	1,126	48.4	303	13.0	1,311	56.4	14	0.6

- ☞ 全国と比較して有所見の割合の高い項目(赤色)。
- ・ 男性の特定健診の有所見状況をみると、メタボまたはメタボ予備群の指標となるBMIの割合は全国よりも高い。特に空腹時血糖と尿酸、腎臓の機能の指標となるクレアチニンの有所見の割合が高い。
- ・ 女性も全国と比較して有所見割合が高い。特に肝臓の機能を診るGPT、空腹時血糖、尿酸の割合が高い。

5. 平成30年度～平成35年度の目標（計画書 P69）



データヘルス計画の目標管理一覧表

関連計画	健康課題	達成すべき目的	課題を解決するための目標	初期値		中間評価値					最終評価値	現状値の把握方法	
				2016年(H28)	2017年(H29)	2018年(H30)	2019年(H31)	2020年(H32)	2021年(H33)	2021年(H34)	2022年(H35)		
特定健診 等計画	・特定健診受診率、特定保健指導実施率が、国の目標に達していない。 ・早世の死亡率が高い。 ・レセ件数を見ると、外来が減り、入院が増えている。また1件当たりの在院日数も増加。 ・健診結果で、糖代謝異常(HbA1c)の有所見者の伸びが大きく、3項目の有所見者も男女ともに増加。 ・人工透析患者のうち、糖尿病の者が50.9%いることから、慢性腎臓病(糖尿病性腎症)の大きな要因となっている。	医療費削減のために、特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により、重症化予防対象者を減らす	特定健診受診率60%以上	36.7%	38.0%	41.0%	45.0%	49.0%	53.0%	57.0%	60.0%	特定健診等データ管理システム(法定報告値)	
			特定保健指導実施率60%以上	54.9%	55.0%	55.0%	56.0%	57.0%	58.0%	59.0%	60.0%		
特定保健指導対象者の減少率25%			15.8%	17.0%	18.5%	20.0%	21.5%	23.0%	24.5%	25.0%			
データヘルス計画	中長期	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制する(平成28年度との比較)	脳血管疾患の総医療費に占める割合 2.0%に抑える	2.0%			2.0%				2.0%	KDBシステム 脳、心は厚労省様式3-5 腎は様式3-7 (H28年度)	
			虚血性心疾患の総医療費に占める割合 2.0%に抑える	2.1%			2.0%				2.0%		
			慢性腎不全(透析有)の総医療費に占める割合 0.4%減少	9.0%			8.8%				8.6%		
			メタボリックシンドローム・予備群の減少率 25%	20.2%	21.0%	21.5%	22.0%	23.0%	23.5%	24.0%	25.0%		
			健診受診者の高血圧の割合減少 0.7%(160/100以上)	4.7%	4.6%	4.5%	4.4%	4.3%	4.2%	4.1%	4.0%		
	短期	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の該当者を減らす		健診受診者の脂質異常者の割合減少 2.0%(LDL160以上)	12.8%	12.5%	12.2%	12.0%	11.7%	11.4%	11.1%	10.8%	沖縄市データヘルス計画、ヘルシーおきなわシティ21
				健診受診者の糖尿病有病者の割合減少 1.0%(HbA1c6.5以上)	12.2%	12.1%	11.9%	11.8%	11.6%	11.5%	11.4%	11.2%	
				糖代謝判定(要精査者)のうち、医療受診をした者の割合	50.1%	51.0%	53.5%	55.0%	56.5%	58.0%	59.0%	60.0%	
				HbA1c8.0以上の通院者または中断者に対する保健指導(受診勧奨)を実施した割合	82.9%	83.5%	84.5%	85.0%	86.0%	87.0%	89.0%	90.0%	
				がん検診受診率 胃がん検診 25%以上	6.5%	9.0%	11.5%	14.0%	16.5%	19.0%	24.0%	25.0%	
肺がん検診 25%以上	9.9%	12.0%	14.0%	16.0%	18.0%	20.0%	22.0%	25.0%					
大腸がん検診 25%以上	7.4%	10.0%	12.5%	15.0%	17.5%	20.0%	22.5%	25.0%					
子宮頸がん検診 25%以上	11.1%	13.0%	15.0%	17.0%	19.0%	21.0%	23.0%	25.0%					
後発医薬品の使用割合H28年度72.8%	後発医薬品の使用により、医療費の削減	後発医薬品の使用により、医療費の削減	後発医薬品の使用割合87.2%	72.8%			82.1%				87.2%	厚生労働省	

※各市町独自の設定目標があればそれぞれ追加する

※H32にH31のデータで中間評価を行う。



6. 具体的な対策

①特定健診（計画書 P36）

特定健診の受診率の向上を図るため、40歳～74歳のうち、最も受診率の低い40歳代～50歳代の働き盛り世代を重点的に働きかける。

- ・受診しやすい環境整備…個別健診でがん検診を同時実施。休日健診（集団健診）の実施
- ・受診率向上対策…長期未受診者への受診勧奨の実施
- ・特定健診情報提供事業（トライアングル事業）による健診データ受領
- ・広報活動（国保事業所への勧奨等）

②特定保健指導（計画書 P37）

特定保健指導実施率向上を図るため、集団健診のみ健診結果の手渡しと同時に、健診結果の説明及び保健指導を実施する。また、特定保健指導の内容充実を図るため血液検査（クレアチニン等の追加）と二次検査の実施、健康教室の開催等を行う。

③重症化予防の取組（計画書 P44）

糖尿病性腎症重症化予防の取組として、糖尿病性腎症重症化予防プログラム（中部地区医師会版）及びちゅらま～みプロジェクトを活用し、健診結果ハイリスク者に対する受診勧奨、保健指導、治療中の方へ医療と連携した保健指導等を実施する。

④ポピュレーションアプローチ（計画書 P64）

健康寿命の延伸を目標とした「ヘルシーおきなわシティ 21」に基づき、健康行動や生活習慣の改善を支援する施策及び取組を実施する。

7. 計画の評価・見直し（計画書 P68）

計画の見直しは3年後の平成32年度（2020年度）に進捗確認のための中間評価を行う。また、計画の最終年度の平成35年度（2023年度）には、全体評価と次期計画策定を行う。